

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 千曲製菓有限会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・性別、年齢、国籍、障がい等による差別は一切ありません。悩みや問題が生じた場合は、社長が直接個別に対話を行うなど、風通しが良く意見を言いやすい相談体制や職場環境づくりを徹底しています					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・就業規則においてセクシャルハラスメント、マタニティハラスメント、パワーハラスメント等の各種ハラスメントの禁止を定め、社内での発生を防止する措置を講じています					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・繁忙期の長時間労働はやむを得ない場合もありますが、それ以外の時期には積極的な有給休暇の取得を促し、早期退社を推奨することで、年間を通じた長時間労働の抑制に努めています								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・現在、雇用はありませんが、国籍等によって区別することなく、国内の従業員と全く同一の適正な労働条件・待遇を適用します				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・定期的に社内の安全衛生担当者が工場内を巡回しています。作業中の事故や怪我を未然に防ぐためのリスク監視や、安全で衛生的な労働環境の維持・改善活動を継続しています			3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・労働条件通知書の更新時など、定期的な個別面談を実施し、労働者の精神的な健康状態の把握に努めています			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・社内には多様な人材が在籍しており、性別や年齢に関わらず、本人の希望や能力に応じて積極的に役職への登用や職務範囲の拡大を行い、十分に活躍できる環境を整備しています					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・新規の機械導入などの際には、対象部門の従業員に対して2～3日間の研修期間を必ず設け、安全面の指導から適切な操作・技術の習得に至るまでの教育訓練の機会を提供し、スキルアップを図っています				4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・顧問社労士と相談の上で、法令に則った対応を行っています					5.5			8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・従業員からの意見や要望を積極的に吸い上げて職場環境の改善につなげています			3					8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・事業活動に伴い発生する廃棄物の管理を徹底し、信頼できる外部の専門処理業者へ委託することで、適正な分別・処理を確実にを行っています											11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・自社の環境負荷を把握するため、重油の消費量、ガス使用量、さらに電気使用量の数値を毎月取得し、データの現状把握と管理を徹底しています							7.3						13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・毎月把握している重油・ガス・電気の使用量データを基に、温室効果ガスの排出抑制に向け、温暖化対策計画を策定し、省エネ活動を推進しています							7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・自社の事業活動において、法令等で規制されている有害化学物質は一切使用していないことを確認しています			3.9			6.3					11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・製品の梱包・包装時における環境配慮を推進しています。 紙製の包装紙へと切り替えを進めることでプラスチック廃棄物の削減を図っています。また、包装時のミスやロスを最小限に抑えることで資源の効率的利用に努めています						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・事務所や工場において、ゴミの分別(可燃ゴミ、不燃ゴミ、段ボール、プラスチック類など)を徹底し、資源の再利用(リサイクル)に努めています												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・普段から水道使用量の把握に努め、節水を心がけています						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	・現在取得していませんが、今後検討していきます			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	・長野県の温暖化対策に関する計画・報告制度の枠組みを活用し報告・公開していきます												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・今後グリーン電力の購入を検討していきます							7.2						13				
21	公正な 事業 慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社内で材料を余すことなく有効利用する方針を掲げており、ムダの削減により無駄な調達が無いよう取り組んでいます												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・月1回開催される全体会議(全社員ミーティング)の場を活用し、汚職・贈収賄を徹底的に禁止していることを周知しています																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・当社は公正な競争を行うことを社員に周知徹底し、取り組んでいます																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・自社が保有する複数の商標権(知的財産)について、社長自らが一元管理を行っています。約1年おきに状況確認を行い、適切な維持・手続きを実施しています								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・顧客や従業員などの個人情報を適切に管理するため、電子データについてはアクセス制限およびパスワードを設定した専用フォルダで管理し、紙媒体の重要書類については鍵付きのロッカーに厳重に保管しています																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・今現在、取り扱っていないことを確認しています																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・自社の取り組みを仕入れ先や協力会社等を含めたサプライチェーンで共有し、取り組みを理解していただいています					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【【非該当】を選択した場合こちらには理由記載】	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・食品メーカーとして食の安全・安心を最優先し、製造工程における異物混入防止のための金属探知機の導入や、定期的な抜き取り検査、衛生管理ルールを設け、安全性を確保する体制を構築しています			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・各製造ラインにおける標準作業手順書を整備し、賞味期限の印字確認や抜き取りによる品質チェックを毎日実施することで、常に高品質なお菓子を提供する体制を整えています									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・環境負荷の低い紙製包装への切り替え(脱プラスチック)を行ないつつ、食品ロスの削減(環境配慮)にもつながる製品開発に取り組んでいます						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・各地域の特産品規格外品を買い取り・活用することで、食品ロス問題という社会課題の解決に寄与する製品展開を行っています	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・工場からの排気や騒音によって近隣住民の生活環境に悪影響を及ぼさないよう、脱臭フィルターの点検や、工場周辺の定期的な清掃活動を行っています				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地域社会への貢献の一環として、工場の周辺道路・敷地まわりのゴミ拾いや清掃活動を定期的に実施し、近隣の環境美化に努めています				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・地元長野県産の地域資源を積極的に原材料として取り入れ、地域密着型の製品開発・商品化を行い、地域経済の活性化に貢献しています								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・経営理念や法令遵守(コンプライアンス)の考え方を社内に浸透させるため、月1回の全体会議(全社員ミーティング)等を通じて方針を定期的に共有しています								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・月1回開催される全体会議(全社員ミーティング)の場を活用し、コンプライアンスの遵守について定期的に社内へ周知・徹底しています																	16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・経営トップを中心に対応する体制整備をしています																	16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・定期的にステークホルダーと対話を行い、自社及びステークホルダーの間で情報共有に努めています																	16 17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・ハザードマップを確認し、リスクを把握しています																	16
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・企業活動が地域社会や環境に与える影響を認識し、法令遵守はもちろんのこと、長野県の豊かな自然を守るための環境活動に責任を持って取り組んでいます																	16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		【予定】	・今後取組をしていきます									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		【予定】	・今後取組をしていきます								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定